

多摩観光協議会

1. 目的

多摩地域には、高尾山・奥多摩湖・秋川渓谷など豊かな自然があり、名所・旧跡も多く存在している。しかし、訪れる観光客の多くは、都心からのマイカーや電車を利用した日帰り客であるのが現状である。

東京都が平成13年11月に策定した「観光産業振興プラン」では、滞在型観光地としての付加価値を高めるため、行政区域を越えた広域的な取組みの必要性が指摘されている。

そこで、商工会議所・商工会・観光関係機関等の多摩地域経済団体等が連携し、多摩地域の広域的な観光振興を図ることを目的とする。

2. 役員

会 長 八王子商工会議所 会頭 檜 崎 彰 男

副会長 立川商工会議所 会頭 岩 崎 泉

副会長 青梅商工会議所 会頭 清 水 保 男

副会長 あきる野商工会 会長 石 川 昌 宏

副会長 昭島市商工会 会長 平 畑 文 興

副会長 小平商工会 会長 神 石 實

顧 問 東京都商工会連合会 会長 桂 教 夫

18年度 多摩観光協議会事業計画書

世界都市・東京にあって、豊かな歴史・文化、ものづくりの歴史、山里の自然を各地に残し、多様な市民活動が行われている多摩地域は、これからの時代の観光に必要な多様な資源と資質を持っている。

こうした中、2004年多摩経済サミットにおいて、多摩地域の広域的な観光振興を図ることを目的に当協議会が設立され、東京都も「多摩リーディングプロジェクト」で、当協議会に大きな成果を期待しているところである。

17年度は、今後の多摩地域の観光を考える基礎資料として「多摩地域の観光、集客交流」に関する調査研究を実施し、提言とそれを実現するための具体的プランをまとめた。

18年度は、調査研究の成果を踏まえ、下記のとおり具体的事業の展開を図る。

1．調査研究の報告会等の開催

調査研究事業の成果を広く多摩地域の関係機関等に発信すべく、調査研究報告会等を企画し開催する。

2．提案プランの実現化に向けた取組み

新たな多摩地域の観光ルートづくり等、提案プランの実現化に向け、実務担当者（観光事業者等を含む）によるワーキングを設置し、検討するとともに、それを検証するための事業を展開する。

3．その他

国の新規事業（小規模事業者新事業全国展開支援事業）を活用し、多摩地域の観光振興を図る。